

YAMAKADO NEWSLETTER

NO.109

2008/12/20

山門水源の森を次の
世代に引き継ぐ会

復元北部湿原に通水完了



ついに通水までこぎ着けました。有り難うございました。

2002年3月の試行的復元作業から実に7年が必要でした。

この間、会員は言うに及ばず、山門老人会・淡海森林クラブ・ローソ・湖北ローターリークラブ・訪問団体有志・滋賀県・西浅井町・おうみ NPO 活動基金など多くのご協力を頂きました。今後は、復元地のモニタリングをしつつ、完全復元を目指して活動を続けますので、一層のご協力とご理解をお願い致します。

山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会 会長 竹端康二

念願の北部湿原灌木帯の湿原復元への通水作業を終えてのランチタイム (08/12/13)

12月13日この時期としては珍しい好天のもと、北部湿原通水作業を実施しました。自然に人為的行為を加えるということについては随分悩みましたが、過去の当地の状況を調べるにつれ、既に1960年代に一部の工事がなされていることがわかり本格的な復元作業を行うことになりました。期せずして今回の通水作業中にかつての工事に使用された重機の部品が出土し、本会の考え方が間違いでなかったことが証明されたのも一つの成果でした。

リュウキュウマメガキ】のこと



沢山実ったリュウキュウマメガキ (08/11/25) 刀打ちできない。ど

なたか整理して頂けませんか??

2008年の初雪は、2007年の同日11月18日から19日にかけてになりましたが、本格的積雪は20日となり湿原で6cmでした。が根雪とならずその後も本格的な降雪はありませんでしたが、紅葉は



2007年より1週間早まりました。

初積雪 (08/11/21)



完全落葉 (08/12/10)

「山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会」

<http://www.digitalsolution.co.jp/nature/yamakado/>

ササユリの保全作業の1年

今年もササユリの保全活動は、5月11日の「ササユリ発芽地点調査」から始まり、12月10日の資材完全撤収で終了しました。この間全ての個体の生育状況が異なるため、1つの作業も何日



ササユリ発芽地点調査 (08/05/11)



獣害防止金網設置 (08/05/28)



金網内で開花 (08/06/09)



開花株から金網除去 (08/06/06)



金網除去後の状況 (8/06/07)



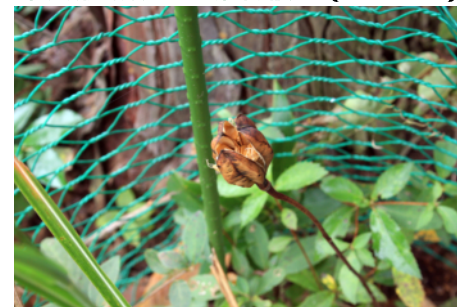
果実形成期の金網再設置 (08/06/15)



果実の充実期 (08/09/01)



果実・球根ともに獣害 (08/10/02)



果実完熟 (08/10/31)



果実採取 (08/10/21)



果実採取地点に播種 (08/11/24)



資材撤収 (08/12/02)

にもわたるためその労力は言葉以上のものがありました。が生育状況を観察することでササユリのいろいろな性質を学べるというチャンスにも恵まれました。現地で「播種」という作業は、今年初めての試みです。目的は種子の自然飛散による発芽より、発芽率を上げ株数を増やすことで、将来的には金網設置等の労力が削減できないかという試みです。採取地点周辺に播種したのは、遺伝子のこととを考慮してのことです。

貴重種の増殖作業



技術講習風景

本会の活動が本格化する以前に、湿原からの盗掘が続き、20株前後まで減少（これは生物学的には絶滅に値する）した植物があります。2006年「滋賀県農業技術振興センター先端技術開発部」に相談をしたところ「協力しよう」ということになり、2007年採取した種子を培養して頂きました。今植え替えの時期を迎え、技術指導を受けながら近成・中野会員が植え替え作業に従事して貰っています。

成否は運任せのところがありません。



植え替え完了の貴重種 (08/12/01)